

=スライム除去剤=

NFクリーナー

プリント基板製造設備において使用されるシャワー式後処理機（水洗機）は長時間運転していると、スライムや腐蝕性生物（藻）、スケール等付着します。これらの障害物の付着は装置の洗浄性（水洗性）の低下原因になります。

N・F・クリーナーは塩素を主体とした薬液です。蓄積したスライムや腐蝕性生物（藻）に浸透して発泡と化学的酸化力で分解・剥離力を発揮し障害物を除去する事を目的とした商品です。

洗浄操作は水洗機（水洗槽）建浴し運転致します。短時間にスライム等剥離除去する事が可能です。後処理としては水洗のみで作業を終了する事が出来ます。

使用方法（シャワーリング処理の場合）

【洗浄工程】

- ① NF クリーナーを 5~6 倍希釈にて建浴する。
(例：100L~120L 槽（タンク）に NF クリーナー 20kg×1本と添加剤 200cc×1本 入れ上記通り希釈します。) シャワーポンプ ON 処理運転をして下さい。
- ② 処理時間 15分~30分（汚染状況に応じて処理時間を設定してください。）
- ③ 汚染のひどい槽からはじめ洗浄が終了したら薬液を次の槽に移送し処理薬品として使用してください。（汚染度、薬品の持出し量にもよりますが処理後次々移送して使用）
- ④ 洗浄廃液は廃水設備法流又は下水放流してください。
- ⑤ 洗浄後水洗を十二分に行ってください。（各槽（タンク）の発泡、スケール残渣がなくなるまで行ってください。）

使用方法（手作業ブラッシング処理の場合）

- ① NF クリーナーを 5~6 倍希釈調整する。汚染部分に NF クリーナー（倍希釈調整後の物）かけた後添加剤を数滴ふり掛けブラッシング時適度な泡になるよう作業実施の事。

【注意】

- * NF クリーナーはアルカリ性塩素系洗浄剤です。取扱いの際はゴム手袋・ゴム長保護めがね等保護具を御使用下さい。万一肌に触れた場合は直ちに水洗してください。異常がある場合は医師による治療を受けてください。
- * 洗浄作業中は多少塩素ガスが発生いたします。換気をしながら実施してください。また直接吸引しないよう注意してください。
- * 酸性液体・酸化剤・還元剤との原液にての混合は避けてください。
- * NF クリーナー（原液）と添加剤との原液にての混合はしないでください。

- * 現像機・アルカリ剥離機の後処理のように生物的スケール以外に化学的有機物のスケールが予想される場合は通常より発泡が多くなる為に添加量を50ccから徐々に添加して発泡量が3～5cmになるよう調整のうえ御使用ください。
(状況にもよります添加剤不要の場合もあります)
- * 保管の際は冷暗所に保管してください

【荷姿】 N Fクリーナー (本液) 20 kg (キュービィテイナー)
N Fクリーナー (添加剤) 200cc (ポリ容器)

【メモ】

状況によっては添加剤を入れない方が良好の場合がございます。

(∵添加剤を入れる事で泡を多量に出る場合がございます。)

本件に於いては添加剤を入れない方が良好と考えられます。

添加する場合は少しずつ試みて下さい。

添加剤は薬液の活性度を上げる目的の為)

販売元 日本弗素工業株式会社
東京都小平市大沼町5-19-20
TEL 0424-68-8022